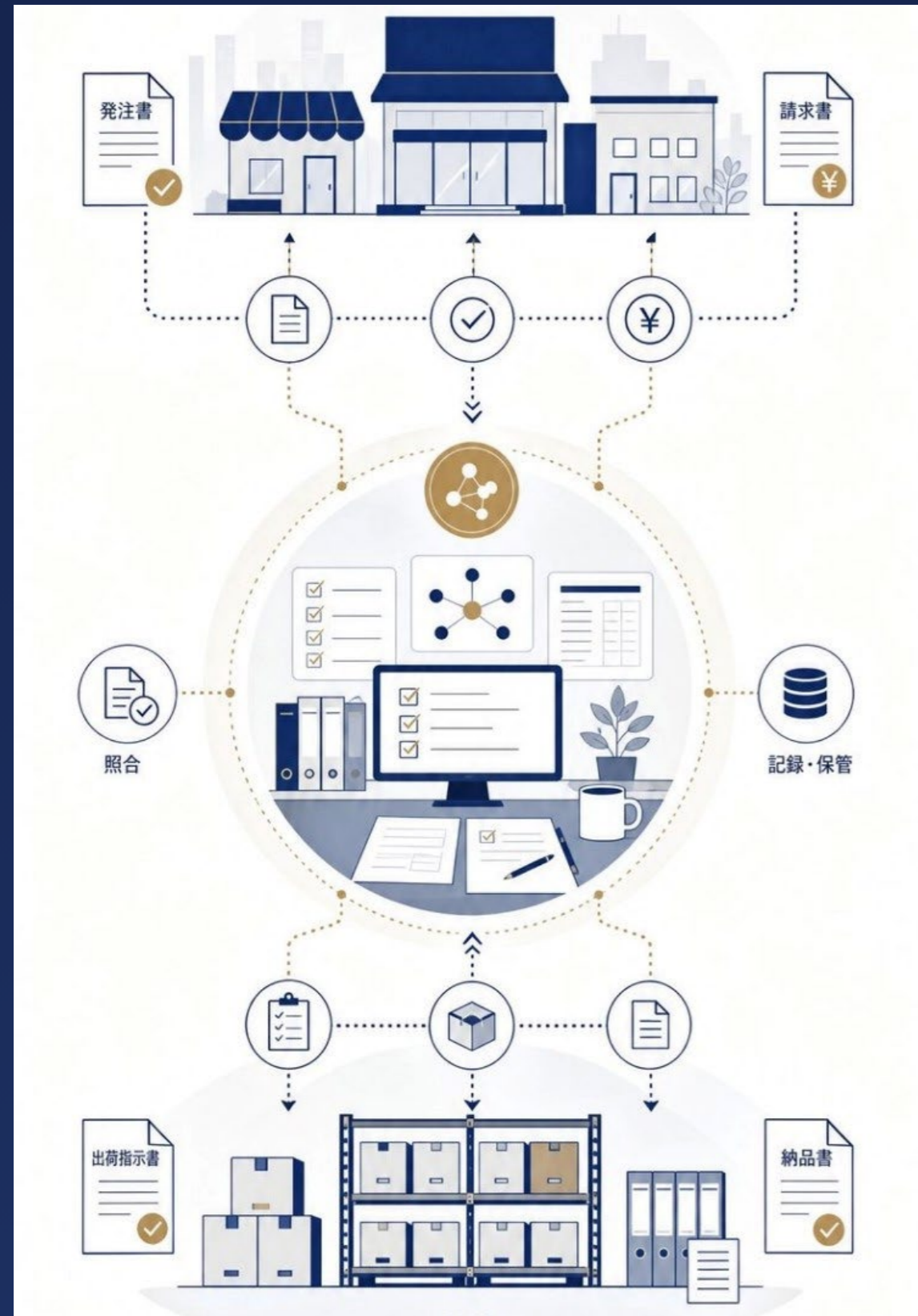


CONCEPT ILLUSTRATION

商流と物流の「あいだ」を、第三者が整える。



商流・物流 受発注・取引運用BPO

# 受注を、 ただの入力で 終わらせない。

商流と物流の間で起きる「言った・言わない」「判断待ち」「在庫・入出庫の差異」を、  
処理・確認・証跡化し、安定して回る取引運用へ整えます。

処理・確認・連絡・証跡整理は、サンクネットに。

受注可否・与信・価格・出荷可否などの判断は、お客様に。

# 止まってはいけない取引運用を、 設計し、実行し、改善しながら安定して回す

受発注処理を入口に、在庫・入出庫のイレギュラー、例外対応、判断待ち、証跡管理、月次改善まで。  
取引運用を安定して回るBPOとして、設計・実行・改善を一体で担います。

## POINT 01

### 単なる入力代行ではない

受発注処理を入口に、**差異・例外・判断待ち・証跡**まで運用として見るBPO。物流の実行は行いません。

## POINT 02

### 第三者の立場で受け止める

商流と物流の間で起きる「言った・言わない」を、**第三者として処理・確認・証跡化**します。

## POINT 03

### 判断はお客様に残す

処理・確認・連絡・証跡整理はサンクネットに。**受注可否・与信・価格・出荷可否などの判断**はお客様に残します。

## IN / SANKNET

### サンクネットが担うこと

受発注処理／注文内容・納期確認／イレギュラー検知／一次連絡／判断待ち整理／台帳更新／第三者連絡証跡レポート／月次改善

## OUT / CLIENT

### お客様に残ること

受注可否／与信／価格／出荷可否／在庫・出荷確定／品質／補償／最終判断・承認

SCATTERED INFORMATION, OVERLOADED PEOPLE

# 受注・在庫・入出庫の差異を、担当者任せにしているませんか

電話・FAX・メール・Excel・基幹システム・個人メモ。  
情報が散らばり、判断待ち・差異確認が現場担当者に集中していませんか。



FIG. 01 / TYPICAL FIELD SCENE

## SEVEN SYMPTOMS

### 7つの症状

- 在庫がないのに、注文が入っている
- 予定外の注文の承認・確認フローが曖昧
- 予定外の入庫があり、発注・予定と合わない
- 予定外の出荷の理由・承認が追えない
- 受注内容と納品条件台帳が合っていない
- システム上のステータスと、電話・メールが不一致
- 担当者が個別処理し、履歴が残らない

## CONCLUSION

問題は受発注処理そのものではなく、差異・例外・判断待ち・証跡が継続管理されていないこと。

THE COST OF UNRECORDED COMMUNICATION

# 商流と物流の間で起きる 「言った・言わない」を減らす

属人化した連絡は、担当者が休めば止まり、担当者が変われば消えます。  
記憶や個人メモに依存した運用は、関係者間に不信と確認作業を生み続けます。

## FIELD VOICES

## 毎日聞こえている、現場の声

「FAXしたvs届いていない」

「電話で了承したvs現場は聞いていない」

「メールは送ったvs判断済みか分からない」

「担当者が休むと経緯が分からない」

「取引先別の例外条件が個人メモ依存」

## SANKNET'S ROLE

## サंकネットの役割

後から事実を確認できる状態を、運用として作る。

01 確認通知の標準化

02 案件管理・判断待ち一覧の整備

03 第三者連絡証跡レポートの発行

04 取引先別 納品条件台帳の更新

CONCLUSION / 次ページへ

「言った・言わない」を運用の外に追い出すために必要なのは、物流を実行しない第三者の立場です。 ▶

WHY A THIRD-PARTY MAKES THE FACTS VISIBLE

# 物流を実行しない第三者だからこそ、 事実を整理できる

サンクネットは物流会社ではありません。配送・倉庫・配車・荷役は行いません。  
だからこそ、商流と物流の間に立ち、連絡・確認・判断待ち・対応履歴を第三者的に整理できます。



FIG. 02 / THIRD-PARTY POSITION

## CONCLUSION

物流を実行しない立場が、事実を整理できる立場をつくる。— これが、サンクネットの楔。

### 楔（くさび）

**第三者証跡は、  
不信のためではなく  
解放のための仕組み。**

「言った・言わない」を巡る確認作業は、現場担当者の時間を最も奪う作業です。**第三者が連絡・確認・対応履歴を残す**ことで、担当者は記憶ではなく事実で判断できるようになります。

#### 楔の意図

相手を疑うための仕組みではありません。  
担当者を、不毛な確認作業から**解放するための仕組み**です。

NOT JUST DATA ENTRY — A TRANSACTION-OPERATIONS BPO

# 単純な受発注入力代行ではない。 取引運用を安定させるBPO

商流と物流の間に立つ事務局として、受発注処理を入口に、  
確認・連絡・判断待ち・台帳更新・証跡整理・月次改善までを一体で担います。



OUT OF SCOPE / 担わないこと  
 物流実行（配送・倉庫・配車・荷役） / 受注可否・出荷可否・価格・与信・品質・補償の判断・承認・確定

FROM DATA ENTRY TO CONTINUOUS IMPROVEMENT

# 受発注処理を入口に、 イレギュラー検知から証跡改善へ広げる

入力代行では終わりません。日次処理を起点に、**4層の運用機能**として段階的に広げます。



## LAYER 01 日次処理

受発注処理を安定して回す土台。

受発注入力補助 / **注文内容確認** / **納期確認** / 既存システム入力補助

## LAYER 02 / KEY

## イレギュラー検知

「予定との差異」を毎日拾い続ける層。

**在庫不足注文** / **予定外注文** / **予定外入庫** / **予定外出荷** / ステータス不一致

## LAYER 03

## 例外対応・判断待ち

整理・通知・エスカレーションを担う層。

欠品 / 分納 / 返品 / 遅延 / **判断待ち一覧** / エスカレーション



## LAYER 04

## 証跡・月次改善

処理を運用ファクトと改善候補に変える層。

受発注・取引運用台帳 / **第三者連絡証跡レポート** / 月次KPI / 改善候補

CLEAR LINE BETWEEN PROCESSING AND JUDGMENT

# 処理は支援する。 判断は、お客様に残す

サンクネットは、お客様の意思決定を代行しません。  
「処理・確認・連絡・証跡整理」と「判断・承認・確定」の境界を明確にし、責任を切り分けて運用します。

## IN / SANKNET

### サンクネットが担うこと

処理・確認・連絡・証跡 — 運用を回す機能

- 01 処理（受発注入力補助・台帳更新）
- 02 確認（注文内容・納期・在庫・入出庫）
- 03 一次連絡・通知・エスカレーション
- 04 判断待ち整理・未回答一覧
- 05 第三者連絡証跡レポート
- 06 月次レポート・改善候補整理

## OUT / CLIENT

### お客様に残ること

判断・承認・確定 — 経営と現場のコア機能

- 01 受注可否
- 02 与信
- 03 価格・条件決定
- 04 出荷可否・在庫確定・出荷確定
- 05 品質・補償
- 06 最終判断・承認・確定

処理・確認・連絡・証跡整理は、サンクネットに。

判断・承認・確定は、お客様に。 — この境界が、責任とスピードを両立させます。

NOT A SAAS REPLACEMENT — A LAYER THAT CATCHES THE GAPS

# 既存システムを置き換えず、 システム内外の差異を拾う

受発注システム・ERP・販売管理・WMS・TMS・BtoB EC・バース予約システムは、引き続きお客様の主要システムとしてご活用ください。  
サンクネットは、それらを置き換えるのではなく、間を埋めます。



## CONCLUSION

SaaSの代替ではなく、システムと現場連絡の「あいだ」を埋める運用レイヤー。

FROM INTAKE TO MONTHLY IMPROVEMENT

# 受付から月次改善まで、運用として回す

日々の入力で終わらせない、10ステップの標準運用。  
特に **STEP 03「イレギュラー検知」** が、サンクネットBPOの真価が出る工程です。



WHY THIS LOOP

処理だけで終わらせず、毎月「差異の傾向」を運用に戻す。だから改善が止まらない。

# 日々の処理を、 後から確認できる運用ファクトへ

判断待ち・未回答・差異を一覧化し、次に誰が何を判断すべきかが見える状態にします。  
処理した内容は、台帳・一覧・レポートとして残し、後から事実で確認できる形で蓄積します。

SAMPLE OUTPUT / 判断待ち・未回答一覧（イメージ）

## 判断待ち・未回答一覧

※ 表示は架空のサンプルデータです。実データではありません。

DATE 発生 日	CLIENT 取引先	EVENT 発生内容	STATUS 状態 態	DECISION 必要 判断	NEXT ACTION 次ア クション	DUE 期限
6/18	A社	在庫不足注文	判断待ち	分納可否	営業責任者へ確認	6/20
6/19	B社	予定外出荷	確認中	出荷理由確認	倉庫へ確認中	6/21
6/20	C社	納品条件不一致	未回答	条件変更可否	顧客へ確認依頼	6/22

日々の処理を、後から確認できる運用ファクトへ。

判断待ち・未回答・差異を一覧化し、次に誰が何を判断すべきかが見える状態にします。

OTHER DELIVERABLES

## 主な成果物

01 受発注・取引運用台帳

02 イレギュラー検知一覧

03 判断待ち・未回答一覧（左に例示）

04 納品条件台帳

05 確認通知メール/FAX

06 第三者連絡証跡レポート

07 月次KPIレポート

08 改善候補一覧

成果物の出力単位・粒度・配信頻度は、対象業務に合わせて整えます。詳細フォーマットは詳細版および個別相談にてご案内します。

FROM PROCESSING TO VISIBILITY, TOWARD IMPROVEMENT

# 受発注まわりの困りごとを、見える化して改善へ。

サンクネットは、受発注処理を代行して終わる会社ではありません。日々の処理・確認・判断待ち・連絡履歴を整理しながら、**どこで業務が止まりやすいのか、どこに確認漏れや手戻りがあるのか**を見える化します。見えてきた課題は、台帳・確認ルール・運用フロー・ツール活用の見直しにつなげ、**現場が迷わず回る形へ整えていく**ことが、サンクネットの強みです。

## STRENGTH 01

### 見えにくい状況を整理する

電話・FAX・メール・Excel・システムの間で散らばった情報を整理し、**判断待ち・未回答・差異**を見える状態にします。

## STRENGTH 02

### 繰り返す困りごとを改善する

在庫不足・予定外注文・予定外入庫・予定外出荷・納品条件の不一致など、**何度も起きる問題**を整理し、確認ルールや対応フローの見直しにつなげます。

## STRENGTH 03

### 必要なツールを上手に使う

既存システムを置き換えるのではなく、Excel・kintone・フォーム・RPA・BIなどを**必要に応じて活用**し、現場で無理なく回る仕組みを整えます。

## SANKNET'S DEFINITION

サンクネットが目指すのは、作業を代わりに行うだけのBPOではありません。日々の処理を通じて、**業務の状態を見える化し、改善につなげるBPO**です。

# 入力代行で終わらない。 差異・判断待ち・証跡・改善まで見る

一般的な受発注BPOとサンクネットの違いは、コスト構造ではなく、「どこまで運用として見るか」です。

COMPARISON AXIS 比較軸	TYPICAL ORDER BPO 一般的な受発注BPO	SANKNET BPO サンクネット
業務範囲	定型入力を中心とした、処理業務の代行。	受発注処理を入口に、 <b>運用全体を見る</b> 。
例外・差異対応	範囲外として顧客側へ戻りやすい。	<b>在庫不足・予定外注文・予定外入出庫を拾う</b> 。
判断待ち	担当者の頭の中、または個別メール依存。	<b>判断待ち一覧として整理し、未回答を可視化</b> 。
証跡	処理ログ中心、関係者間の連絡履歴は限定的。	<b>第三者連絡証跡レポートとして継続管理</b> 。
改善	改善提案は限定的、運用は固定。	<b>月次でKPI・改善候補を提示し、運用へ反映</b> 。

## CONCLUSION

同じ「受発注BPO」という言葉でも、見ている範囲が違う。— そこに、現場担当者の負荷の差が出ます。

# 対応時間は、業務特性に応じて設計できます

対応時間は、**業務特性に応じた選択肢**として設計します。

平日日中運用から開始でき、必要に応じて休日・夜間の受付・記録・引き継ぎ・エスカレーションを加えます。

## TIER 01

### 平日日中運用

STANDARD / 基本構成

まずは平日日中の運用から開始。受発注処理・確認・判断待ち整理・証跡記録までを安定して回します。

受発注処理・内容確認

イレギュラー検知・一次連絡

判断待ち整理・証跡記録

## TIER 02

### 休日・夜間の設計

OPTIONAL / 業務に応じて選択

業務特性に応じ、休日・夜間の**受付・記録・引き継ぎ・エスカレーション**を必要な範囲だけ設計します。

受付・記録

翌営業日引き継ぎ整理

緊急時エスカレーション

## TIER 03

### 専用・即時対応体制

SEPARATE QUOTE / 別途設計・別途見積

顧客専用の夜間・休日張り付き体制や、24時間365日フル機能対応は、**標準範囲外**として個別に設計・見積します。

専用張り付き体制

即時対応・24/365フル機能

個別SLA設計

## NOT THIS

**休日・夜間にお客様側の社員へ常時対応を求める設計ではありません。**

働き方を増やすためではなく、情報を止めず、翌営業日にスムーズに判断できる状態へ整えるための時間帯設計です。

## DESIGN PRINCIPLE

**止めてはいけない業務を見極め、翌営業日に回せる業務を切り分ける。 — それが、設計の前提です。**

## このような企業に向いています

以下のうち **3つ以上**当てはまる場合、初回ヒアリングで整理できる論点が多い領域です。

### SELF CHECK

#### 10項目セルフチェック

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 受発注処理が属人化している           | <input type="checkbox"/> 在庫不足注文の確認が遅れる       |
| <input type="checkbox"/> 予定外注文・予定外入庫・予定外出荷が見えにくい | <input type="checkbox"/> 欠品・分納・返品・遅延が日常的に発生  |
| <input type="checkbox"/> 電話・FAX・メール・Excelが残っている  | <input type="checkbox"/> システムと現場連絡が一致しない     |
| <input type="checkbox"/> 判断待ちが可視化されていない          | <input type="checkbox"/> CLO・物流責任者向けの説明材料が必要 |
| <input type="checkbox"/> 取引先別の納品条件が個人メモに依存       | <input type="checkbox"/> 受発注処理の環境を見直したい      |

### INDUSTRY FIT

#### 特に親和性の高い業種

商流と物流の間で、例外対応・判断待ち・第三者証跡の二ーズが強い業種。

01 商社・卸

02 メーカー（食品・飲料・消費財）

03 小売・外食チェーン本部

04 BtoB EC運営企業

05 受発注・WMS・TMS導入済みで例外が残る企業

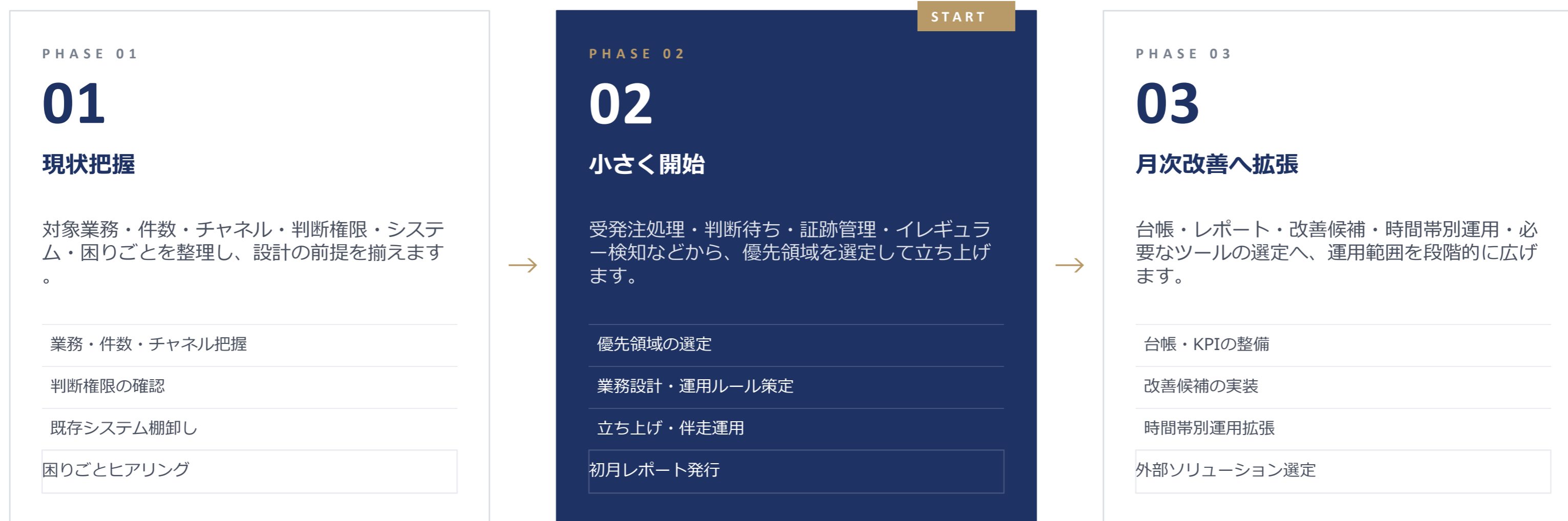
### RECOMMENDED

「システムは入れたが、現場が止まらない」と感じている企業ほど、初回ヒアリングで整理できる論点が多い領域です。

START SMALL, EXPAND BY OPERATION

# 小さく始めて、 運用範囲を広げられます

最初から全範囲を導入する必要はありません。**優先領域から開始**し、月次改善を重ねながら段階的に広げます。



### DESIGN PRINCIPLE

「一括導入」ではなく「優先領域から立ち上げ、月次で広げる」のが、止めずに移行する標準アプローチです。

WHAT WE TYPICALLY START WITH

# まずは、現在の運用状況を一緒に整理します

初回ヒアリングでは、以下のテーマから1~2つを選び、現状の運用構造と課題仮説を整理します。

THEME 01

### 受発注処理の安定化

属人化解消、処理ばらつき低減

THEME 02

### 在庫不足注文の検知

受注時点での差異把握、確認フロー設計

THEME 03

### 予定外注文・在庫・出荷の確認

発生時の検知、承認・記録の整備

THEME 04

### 欠品・分納・返品・遅延の判断待ち管理

未回答案件の可視化、滞留時間管理

THEME 05

### 納品条件台帳の整備

取引先別の例外条件を文書化・継続更新

THEME 06

### 電話・FAX・メールの証跡整理

記憶依存の連絡を、運用ログへ

THEME 07

### 既存システムと現場連絡のズレ

ステータス不一致の発生源と検知設計

THEME 08

### 休日・夜間の受付・記録・引き継ぎ設計

時間帯別運用、エスカレーション設計

THEME 09

### 月次レポート・改善候補整理

KPI設定、改善候補の運用反映

OUR APPROACH

いきなり提案ではなく  
まずは整理から。

初回は「サービスの売り込み」ではなく「現状の構造整理」です。  
整理した結果、自社内で対応すべき領域がある場合は、それも正直にお伝えします。

# 人と技術で、 感謝をつなぐ。

Connecting gratitude through people and technology.

商流と物流の間に生まれる不信を、**事実と証跡**でほどく。  
業務を止めず、関係を壊さず、**次の改善**へつなげる。 — サंकネットは、止まってはいけない取引運用を、**仕組みと人で支える実行型BPO**です。

## FROM PHILOSOPHY TO OPERATION

### その言葉を、 取引運用の現場で形にする

サंकネットは、受注処理を**安く代行する会社ではありません**。  
止まってはいけない取引運用を、**設計し、実行し、改善しながら**  
安定して回る状態へ整え続ける会社です。

#### DESIGN PRINCIPLE / 境界設計

処理・確認・連絡・証跡整理はサंकネットに。  
判断・承認・確定はお客様側に。

# 受注・在庫・入出庫の差異を、 担当者任せにしないために

本資料は、初回接点向けの簡易版です。詳細版および個別相談で、貴社業務に合わせた具体的な運用設計をご案内します。

## CALL TO ACTION

### まずは、現状を整理するところからご相談ください。

対象業務・件数・チャネル・判断権限・現状の困りごとを、初回ヒアリングで一緒に整理します。  
導入提案の前に、まずは「自社の運用がどこで止まっているか」を構造的に見える化することから始めます。

#### NEXT 01

##### 詳細版資料のご請求

サービス範囲・成果物・運用設計の詳細を網羅した資料をお送りします。

#### NEXT 02

##### 個別相談（オンライン）

60分のオンライン相談。現状ヒアリングと論点整理を行います。

#### NEXT 03

##### 業務ヒアリング

対象業務・件数・チャネル・判断権限を、構造化シートで整理します。

処理・確認・連絡・証跡整理は、サंकネットに。

受注可否・与信・価格・出荷可否などの判断は、お客様に。